

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(2/20)

文：倉谷、写真：倉谷、越野、山國

日 時：2020（令和2）年2月20日（木）9：30～15：00

気 象：曇りのち晴れ

活動エリア：45 林班ろー03

活 動 内 容：林床整備（枯損木・倒木・落枝）、過密な常緑広葉樹の間伐、枝打ち

参 加 者：泉家恵子、工藤貴士、倉谷邦雄、黒山康弘、越野雅子、中村賢三、宮本廣、山國、山田真也

(9名)

活 動 記 録:

<事務局長の義理堅さに感服 早期の回復を！>

体調を崩して不参加、と思いきや、いつも通りに高槻の集合場所に顔を見せた斧田事務局長。今日の作業場所・注意事項を打ち合わせて我々の出発に手を振ってくれた。自らのからだを顧みず、何と義理堅いことか一同感服しきり。

さて、今日は2月6日（木）の振り替わり。春は名だけの山の中は真冬並みかと思ったら、何のことはない青空が見える穏やかな天気。おかげで作業は想定以上に進み、汗もたっぷり。春近し。

<今日の成果>

先月の作業場所の続きであるため、皆さん要領良く取り掛かることができた。サカキ・ヒサカキが多く、落葉広葉樹は意外と少なく感じる。先ずこれら常緑広葉樹の灌木群を間伐する。別班は白テープが巻かれた枯損木の除伐に取り掛かる。灌木群に潜り込んだら仲間の姿が見えなくなるので、伐倒時の声掛け・合図を促す。若い人がいると作業が早い。午前中で相当進んだため、尾根を挟んで両サイドがスッキリするとスギ・ヒノキの枝が目立つ。しかも太い枝である。幹の成長が妨げられているのが明らか。午後は枝打ち。

<写真編>

朝の集合写真



活動地要図



現場到着(帰りの登道はコタえる)



親木の幹が痩せ、蔓の方が育っている？



真ん中の白く見える枯れ木を除伐したい→



除伐完了



枯損木は思わぬ時に上部が落下→頭上注意



ロープを掛けてエーンヤコーラの引き倒し

